

講師

山路 麻佳

■ 学歴

1. 2013 年 国立福岡教育大学大学院修了

■ 学位

1. 2013 年 修士（教育学）

■ 研究分野

1. ピアノ演奏学
2. 音楽表現
3. リトミック

■ 研究キーワード

1. ピアノ演奏表現
2. 音楽教育
3. 幼児の音楽表現
4. リトミック
5. アンサンブル
6. 保育者養成ピアノ教育

■ 研究課題

1. 保育者養成のためのピアノ教育において、ピアノの経験がない初心者への効率的な指導法を弾き歌い伴奏を中心に、幼児の音楽表現と関連させながら考察する。
2. 幼児の音楽表現に関して、リトミックや器楽アンサンブル(合奏)を中心に考察する。
3. ピアノ演奏表現について、ピアノ作品の作曲家や時代背景を中心にして演奏解釈を考察し表現を深める。

■ 担当授業科目

1. 子どものためのピアノⅠ（前期）選択
2. 音楽の基礎（前期）選択
3. 子どものうたと伴奏法Ⅰ（前期）選択
4. 保育内容「表現」の指導法（音楽・身体）（前期）選択
5. 子どものためのピアノⅡ（後期）選択
6. 子どものうたと伴奏法Ⅱ（後期）選択
7. 子どものうたあそび（後期）選択
8. 子どもと表現（後期）選択
9. 器楽アンサンブル（後期）選択

10. 子ども音楽療育演習（前期）選択
11. 子ども音楽療育実習（後期）選択
12. 子ども学基礎演習（通年）必須
13. 子ども学特別演習（通年）必須

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	授業科目名【子どものためのピアノⅠ】 非常勤助手6名のもとグループに分けて個別レッスン形式で進めることにより、個々の学生に応じてピアノの基礎的な演奏技能を向上していけるように工夫した。また、個別レッスン以外に、科目担当者のもとで1人3回ずつグループレッソンの機会を設けることで、保育者に求められる人前で弾く力やコード伴奏の基礎を習得し、実践を意識してピアノ演奏に取り組む機会を設けた。
2.	授業科目名【音楽の基礎】 单元ごとに小テストを行うことでそれぞれの学習状況を把握するとともに復習への意識を高めた。講義の際は机間指導を適宜行いながら進めることで学生から質問を受ける機会を設け、全体の状況を把握できるよう配慮した。また、独自に作成したソルフェージュ教材を準備し、毎回の授業後半に取り組むことでリズム感や基本的な発声について演習を通して理解が深まるようにした。
3.	授業科目名【子どものうたと伴奏法Ⅰ】 学生が曲想を感じとり表現豊かにピアノによる弾き歌いができるよう個別レッスンを行った。個別レッスン以外に1人2回ずつ中間発表・グループレッソンの機会を設け、実践に即した形(保育者(弾き手)・子ども役(歌い手))で発表を行うことで、人前で弾くことに慣れながら保育者に必要なピアノ演奏技術について理解を深められるよう心がけた。また、課題とは別に実習先や就職試験で求められる曲の指導もしていくよう配慮した。
4.	授業科目名【保育内容「表現」の指導法】 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「表現」についての理解を深めた上で楽器や身近な素材・身体を使った表現など幅広い表現活動を行い、楽しみながら音楽技能や表現力が習得できるよう授業を展開した。授業の後半では、グループごとに指導案を作成し、模擬保育を行うことで子どもの表現への理解を深め実践力を高めることができるようにした。
5.	授業科目名【子どものためのピアノⅡ】 個別レッスンを行いながら、科目担当者のもとで1人2回ずつ中間発表・グループレッソンの機会を設けることで、実践を意識してピアノ演奏に取り組むだけでなく、他者の表現を感じ受け止め言葉で伝える大切さや自身の演奏を見つめ直す機会を設けた。弾き歌いの課題では前期「子どものためのピアノⅠ」で習得したコード伴奏の基礎を踏まえ、曲想にあったアレンジ用いることによりピアノ技能を高められるよう進めた。
6.	授業科目名【子どものうたと伴奏法Ⅱ】 これまでに習得したピアノ演奏技術をもとに、学生の習得状況に応じた個々に合わせた課題を準備し授業を進めた。個別レッスン以外に1人2回ずつ中間発表・グループレッソンの機会を設けることで、人前で弾くことに慣れながら実践に即した形(保育者(弾き手)・子ども役(歌い手))で発表を行い、

	保育者に必要なピアノ演奏技術について理解を深められるよう心がけた。また、ピアノ演奏に不安がある学生には個々の技能に応じた簡易伴奏法を教授した。
7.	授業科目名【子どものうたあそび】 保育者として求められる歌唱技術について理解を深めるとともに基本的な発声・音程・リズムを習得し、子どもの発達段階や環境と関連づけながらわらべうたや手あそびを選択して実践することができるよう工夫した。また、グループワークを通して身体表現を伴った歌唱表現について理解を深め発表する機会を設けることで、コミュニケーション力・協調性を育むことができるよう配慮した。
8.	授業科目名【子どもと表現】 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「表現」について理解を深められるよう、DVDを用いて日常生活の中でみられる子どもの表現を段階的に学び、表現を促すための環境について考えられるようにした。また、身近な素材を用いた表現活動を通して自分と他者の表現を共有し、保育現場での表現活動のあり方を考える機会を設けた。
9.	授業科目名【器楽アンサンブル】 履修者が少人数であったため編成の大きいアンサンブルはできなかったが、少人数でもできる教材を準備しハンドベルや保育現場で多く使われる楽器の奏法を学びアンサンブルの美しさ楽しさを感じられるようにした。また、楽器演奏に苦手意識をもっている学生もいたが、身体や声を使ったリズムアンサンブルを取り入れることで幅広くアンサンブルへの理解を深めていくことができるよう工夫した。
10.	授業科目名【子ども音楽療育演習】 「子ども音楽療育士」の資格取得を希望する学生が受講している。3名の外部講師をお招きし、特別支援学校等の現場の話や実際の映像を通して学生たちがより具体的に療育的な支援のあり方について学ぶことができるよう配慮した。また、配慮のなされた楽器に触れる機会を設け、グループワークを通して療育活動のプログラム作成・発表を行い実践力を高めることができるようにした。
11.	授業科目名【子ども音楽療育実習】 「子ども音楽療育概論」「子ども音楽療育演習」の科目を通して学んだことを活かし、本学附属幼稚園にて3回の実習を行なった。毎回の授業で振り返りを行うことで次の実習へ活かしながら、当日までに話し合い・練習を重ね、学生たちが自発的に考え動き協同的な学びとなるよう配慮した。
12.	授業科目名【子ども学基礎演習】 子どもや保育に対する理解を体験を通して深め、将来の保育者としての実践力を身につけることを目的とした科目である。前期には学生が円滑な学生生活を送ることができるよう個別面談の機会を設けることで丁寧に個々と向き合う機会を設けた。また、後期には大学祭にて地域の子どもたちに向けてあそびの場を展開し、当日に向けて学生たちが協同的にコミュニケーションを図りながら準備・運営を行うことができるよう配慮した。
13.	授業科目名【子ども学特別演習】 卒業年次のゼミ活動のため、学生たちがどのような学びを深めたいか話し合いの機会を多く設けるよう配慮した。今年度は楽器についての理解を深め、アンサンブルを中心とした活動に取り組んだ。また、前期・後期に各1回ずつ外部にて親子を対象としたリトミック活動を行い、学生たちでプログラム構成・準備・練習を行い、学生たちがコミュニケーションを図りながら協同的に実践することができる機会を設けた。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2018 年 4 月～現在に至る	日本保育学会	会員
2.	2019 年 4 月～現在に至る	九州公立音楽学会	会員

■ 研究業績等に関する事項（2024 年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
（学術論文）					
1.					
（翻訳）					
1.					
（学会発表）					
1.					
（演奏）					
1.	2024.8.4	第 79 回九州 合唱コンク ール	ピアノ伴 奏	全日本合唱連盟	第 79 回九州合唱コンクール福岡県大会 において、折尾中学校のピアノ伴奏 場所：石橋文化センター
2.	2024.8.11	第 42 回ピア ノ発表会	ピアノ演 奏		第 42 回ピアノ発表会においてゲスト演 奏としてピアノ演奏 場所：宗像ユリックス ハーモニーホー ル
3.	2024.9.7	Ferris Joint Concert	ピアノ伴 奏	フェリス女学院 大学音楽学部同 窓会 F グループ 九州・山口支部 同窓会	フェリス女学院大学出身の演奏家によ るコンサートにおいてピアノ伴奏 場所：九州キリスト教会館 共演者：平野 亜衣(Vn.)
4.	2024.9.7 2024.9.8	チャイナフ ェスティバ ル in 九州	ピアノ伴 奏	九州華僑華人連 合会 九州中資企業協 会	中華人民共和国建国 75 周年記念イベン トにおいてピアノ伴奏 場所：福岡市役所西側ふれあい広場 共演者：崔 宗順、崔 宗宝
5.	2024.10.20	第 39 回福岡 県高等学校 総合文化祭	ピアノ伴 奏	福岡県高等学校 芸術・文化連盟	第 39 回福岡県高等学校総合文化祭にお いて、筑紫女学園高等学校のピアノ伴奏 場所：若松市民会館 大ホール
6.	2024.11.21	福岡クラシ ック音楽祭	ピアノ連 弾	福岡クラシック 音楽祭実行委員	福岡クラシック音楽祭においてクリス マスに関連した曲をピアノ連弾にて演

		(クリスマス アドベント)		会	奏 場所：貴賓館 共演者：井上 友里子
7.	2024.11.25	第2回響ホ ール室内合 奏団クラシ ックコンサ ート	ピアノ伴 奏	北九州健康友の 会 小倉西・新小倉 支部	入居者の方を対象に行ったクラシック コンサートにおいてピアノ伴奏 場所：大手町病院 共演者：菅原 文子 木村 郁
8.	2025.1.11	北九州音楽 協会フェス タ 2025 vol.3	ピアノ連 弾 ピアノ伴 奏	北九州音楽協会	北九州音楽協会主催のコンサートにお けるピアノ連弾による演奏、ソプラノの 伴奏 場所：戸畑市民会館中ホール 共演者：井上 友里子 金沢 永圭
9.	2025.2.22	2025 年福岡 地区音楽教 室発表会	ピアノ伴 奏	島村楽器店	島村楽器店主催の音楽教室発表会にお けるピアノ伴奏 場所：福岡市中央市民センター

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外 者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任期 期間等	団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.	2014 年度～現在に至る	福岡青年音楽家協会	企画委員役員

2.	2014 年度～現在に至る	北九州音楽協会	会員
3.	2024.6.23	北九州音楽協会 (創立 35 周年記念祝賀会)	ピアノ伴奏
4.	2024.7.28	九州・山口音楽協会 (第 37 回九州・山口ジュニアピアノコンクール)	審査員
5.	2024.11.17	西南シャントウール (能登半島地震チャリティーコンサート)	ピアノ伴奏
6.	2025.12.25	住宅型有料老人ホーム モナトリエ (訪問演奏)	ピアノ演奏
7.	2025.2.11	九州・山口音楽協会 (第 17 回ドリカム・ピアノコンクール)	審査員
8.	2024 年度	むなかた第九合唱団	ピアノ伴奏
9.	2024 年度	ジルベスター合唱団	ピアノ伴奏
10.	2024 年度	西南シャントウール	ピアノ伴奏

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2024 年度	学生募集委員	
2.	2024 年度	図書委員	副委員長
3.	2024 年度	教職課程委員	副委員長
4.	2024 年度	後援会学校委員	
5.	2024 年度	キャンパス・ハラスメント相談員	
6.	2018 年度～現在に至る	大学・短期大学部チャペルアワーにおける奏楽	
7.	2018 年度～現在に至る	入学式・卒業式における奏楽	
8.	2018 年度～現在に至る	クリスマス礼拝における奏楽	
9.	2018 年度～現在に至る	ハンドベル・クワイヤー指導指揮	
10.	2024.9.23	ハンドベル・クワイヤー指導指揮 (戸畑市民会館にて開催された第 28 回九州ハンドベルフェスティバルでの演奏)	

11.	2024.11.2	ハンドベル・クワイヤー指導指揮 (リバーウォーク北九州で開催されたクリスマスイルミネーション点灯式にて演奏)	
12.	2024.11.11	筑豊高校への出張模擬授業	